



石井としたか県議会レポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

八街市民の声を生かして県政改革

八街市特集 県議会一般質問

「市民の声が生かせる県政改革を進める」と今春の県議選・八街市選挙区で4期目の当選を果たした石井利孝(いしい・としたか)県議は、県議会最大政党の自民党県議団の中でも中核となりました。多くの市民支持を力に「暮らしやすい街づくりを進めます」と県政で実現を目指して着実な活動をしています。

9月県議会で一般質問に登壇しました。「安全・安心な街づくり」へ向けて地域に密着した消防団を軸にした広域消防体制や八街警察署の新設について要望・質問して注目されたほか、農業問題のエキスパートとして用排水機場整備を迫り、乳幼児医療費助成や障害者自立支援の「福祉問題」、地域生活の軸となる「道路問題」などで県側を質しました。質疑を1・2面で特集します。

安心な街へ広域消防を質疑



9月県議会で一般質問に登壇した石井利孝県議

石井 災害の大規模化や多様化など住民の期待に応える消防体制の充実強化を図るため、昨年6月に消防組織法が改正され、消防広域化計画を都道府県が年度末までに策定することになったが、本県の進捗状況はどうか。

知事 県は本年度中に「消防広域推進計画」を策定するため作業を進めています。市町村および消防本部から意向調査をして、意見交換

を実施したところです。

石井 消防の広域化に県としてどのように取り組もうと考えているのか。

知事 市町村の意見をよく聞いて計画を策定していきたい。特に広域化の規模や管轄面積、道路など事情を十分に踏まえて計画案を県民に提示したい。合併は行政と消防が一致しない場合もあり工夫が必要で。

石井 指揮命令系統の任命権者は消防組織法上、首長となっているが、広域化に伴い各市町村長とどのように調整していくのか。

総務部長 ひごろから、関係市町村長と消防本部とで協議して共通の認識を持つよう努めることが重要で。

石井 市町村の消防団は広域化の対象となっていないが、消防署と消防団が一体となった防災体制に支障はないのか。

総務部長 消防団は消防組織法に基づき、原則として市町村が設置し管理しています。消防団はより地域に密着した消防防災活動を実施する特性から、広域化の対象とされていません。災害現場では消防団と連携した対応が重要で、合同訓練や定期連絡会議など日ごろから支障がないよう体制を整備しておくことが重要と考えています。

石井 産業や就業構造の変化(サリリーマン化)で消防団員が減少しているが、消防団の活性化や団員確保のためにどのような対策をとっているのか。

総務部長 消防団への助成や消防学校における教育訓練など様々な支援や、理解の活動内容広報に努めています。

石井利孝 県議プロフィール

経歴	
昭和15年11月	八街市生まれ
昭和34年3月	県立東金高校卒業
平成3年9月	八街町議会議員初当選
平成7年9月	八街市議会議員再選
平成9年11月	県議会議員(補選)初当選
平成11年4月	県議会議員再選
平成15年4月	県議会議員3選
平成19年4月	県議会議員4選
現職	
県議会	農林水産常任委員会委員
自民党県連	広報委員会委員長
自民党県連	選挙対策委員会委員
千葉県	消防協会会長
千葉県	農業会議会長

県政や八街市のご相談、ご要望はお気軽にどうぞ... **石井としたか 県議事務所** 〒289-1125 八街市上砂327 TEL.043-445-4929

暮らしやすい街づくりを進めます

福祉施策の充実も要望

国統一で修学前医療費助成を

障害者施設の報酬改善を訴え

石井 乳幼児医療費助成制度について、県は市町村が実施している事業の実態をどのように把握しているのか。また、その実態についてどう考えているのか。

健康福祉部長 市町村によって対象年齢や自己負担の額、所得制限の有無等、違いがあります。本年8月現在で小学校就学前までの対象は33市町村、県が10月から4歳未満に引き上げたことに合わせ6市町が就学前まで拡大しました。住民の

要望を受け止めた認識しています。

石井 この事業は子育て支援として本来全国統一した基準で国が行うべきと考え、国への要望は行っているのか。

健康福祉部長 この制度改正に伴う激変緩和措置として、本年4月から障害者自立支援対策臨時特例交付金を活用し、従前の9割まで保障する事業を実施しています。県は現行の低い報酬体系では、障害のある方を支え

かけていきたい。

健康福祉部長 激変緩和事業の効果結果を踏まえ、平成21年度に予定されている法見直しに向け、国に働き

八街市内の道路・歩道整備を要望

石井 八街市内の交通安全対策に当たり、高齢者や障害者等に配慮した歩道の整備状況はどうか。

県土整備部長 交通死傷者事故が多い箇所を中心に整備を進めています。県道千葉八街横芝線で1・2キロの歩道整備中、国道409号で360メートルの歩道整備用地買収をしています。

八街警察署の新設を早く

要望 石井 八街警察署の新設を強く要望する。八街市を管轄する佐倉警察署の体制は強化されていると聞いていますが、八街市を管轄する八街幹部交番の体制強化には限界があり、八街市の地理的条件や道路事情等を考慮すると、八街

市に独立した新たな警察署の設置が不可欠であると考えます。

治安面ならず、各種行政サービスの市民提供の利便性にも着目し、財政が大変厳しい状況にあることは承知していますが、八街警察署の新設を強く要望します。

積極的に農業視察

農業土地改良議員連盟の石井県議は10月5日、現地研修会に参加しました。写真。山武、東金市内の国営



かんがい排水事業や九十九里の大豆の集団転作営農、みよがの水耕栽培などを見て回り、説明を受け意見を高めました。農業問題解決へ向けて生かします。

用排水機場整備計画へ

石井 県下の用排水機場の老朽化が著しく、計画的な整備が喫緊の課題であるが、今後の整備計画はどうなっているのか。

農林水産部長 県内の用排水機場等の基幹水利施設は947カ所あり、そのうち約半数の467カ所が耐用年数を過ぎています。今後さらに急増する時期で平成18年度から一次診断を行いました。現在、この結果から整備計画を策定しているところです。

現在、用地98%、全体82%です。地権者同意が得られ、JR総武線の跨線橋2台のうち1台の工事を9月に発注し、早期に事業推進を図ってきたい。

要望 石井 八街バイパス

から国道409号区間について早期整備を要望する。また県道神門八街線西林地先から佐倉第三工業団地内道路までの区間について早期整備も要望する。

財源不足が拡大、新税源も「検討」

9月定例県議会で最大会派の自民党代表質問に阿井伸也県議が山武郡選出、3期目が立ち、財政、医療、道路、農業、教育問題などを取り上げた。阿井県議は「200億円にも拡大した財源不足をどうやって解消するのか」と質問。堂本曉子知事は「赤字団体転落への崖っぷちに立っている。県税の滞納整理や未利用県有地の売却などによる歳入確保を進め、あらゆる財源確保策を検討し、経費の削減に一層努める」と答弁。新たな税源についても「幅広く検討する」と答えた。医師確保策では、県独自の制度として私立大医学生への修学資金制度や後期臨床研修医への研修資金貸付制度などを創設したが、植田浩副知事は「当該事業で確保できた医師はまだ少ない」として事業内容を改善する考えを示した。

八街市特集

県議会一般質問

農業のエキスパート

充実の4期目着実に

石井としかか県議